

平成13年 9月18日

報道機関各位

広島大学総務部大学情報室長
西田良一

平成14年度新規概算要求主要事項(追加分)について

このことについて、別紙のとおり送信いたします。
なお、お問い合わせについては、各事項ごとに照会先を掲載しておりますので直接ご連絡ください。

[発信枚数;A4版 7枚(本票含む)]

[平成14年度新規概算要求主要事項\(追加分\)](#)

4. 教育研究施設の新設

○ (教育学研究科)心理臨床教育研究センター

△1 △1 △2
 教授 1人, 助手 1人 計 2人
 客員(教授1人)

5. 全国共同利用施設の新設

○ 放射光科学研究センター(学内共同教育研究施設からの改組転換)

△2 △2 △2 △6
 教授 3人, 助教授 3人, 助手 1人 計 7人
 基礎研究部門、放射光装置研究部門、光源加速器研究部門、客員部門

6. 診療科及び特殊診療施設の新設・整備

○ 歯学部附属病院

△32
 ・診療科の再編成 32人
 (11診療科→3大診療科)
 △10
 ・口腔総合診療部の新設 10人
 △5
 ・地域連携歯科医療部の新設 5人
 △20 △27 △47
 教授 1人, 講師 19人, 助手 27人 計 47人

7. 研究所の改組・転換

○ 原爆放射能医学研究所

・名称変更 原爆放射能医学研究所 → 原爆放射線医科学研究所
 ・大部門の再編成(改組) 4大部門1附属施設 → 4大部門1附属施設
 △13 △14 △2 △22 △51
 教授 14人, 助教授 15人, 講師 2人, 助手 23人 計 54人
 客員(教授2人)

[次ページへ](#) [前ページへ](#)

○(教育学研究科)心理臨床教育研究センターの新設

(要求要旨)

近年、青少年の不登校、引きこもり、災害被災者や犯罪被害者の心理的支援、中高年層の鬱症状・生きがい喪失・自殺などの「心の問題」が顕著化してきている。従来はあまり指摘されなかった引きこもり、児童虐待等相談内容の多様化が進み、心理相談に応じることが極めて困難な状況になりつつある。これらの問題に対応するため、臨床心理相談の充実を図ることが必要である。

このような状況を踏まえ、心の問題に関する先端的援助技法の開発研究、高度な専門的対応と専門的援助を行い得る人材(臨床心理士)の養成と心理臨床家の再教育が急務である。

このため、専門教官、客員教授を配置し、指導体制を充実させることにより、大学院生に必要な実習・訓練時間を倍増し、優れた臨床心理士を養成するとともに、「心の問題」に対する社会的養成に応えるため「心理臨床教育研究センター」を設置する。

なお、従来の心理教育相談室の機能は、本センターが引き継ぐ。

本件に係る照会先
・利島教育学研究科長
TEL. 0824-24-6700

[次ページへ](#) [前ページへ](#)

○放射光科学研究センターの新設
(学内共同教育研究施設から全国共同利用施設への改組転換)

(要求要旨)

放射光科学研究センターは、物質科学を中心とする基礎科学分野での放射光利用研究を推進しており、真空紫外線～軟X線域の高分解能低温光電子分光を用いた物質中の電子状態の解明等で世界レベルの優れた成果を上げているが、我が国が今後も、さらに物質科学における現在の先進性を維持し世界をリードするためには、早急に高度な観測システムを駆使した研究を発展させつつ、ナノ構造物質のサイエンスをはじめとする新しい学問分野を開拓するための研究体制を整備することが急務である。

現在、本センターは、固体物理学を中心とする物質科学の中核的な研究拠点であり、国内外の多数の研究者との共同研究による利用が行われており、国内はもとより世界的にも限られた研究資源であることから、日本放射光学会はもちろん国内の多数の研究者から全国共同利用施設化が要望されている。

このような背景及びこれまでの広島大学放射光科学研究センターの実績を踏まえ、放射光科学の一層の進展を目的として、基礎研究部門、放射光装置研究部門、光源加速器研究部門及び客員部門からなる全国共同利用施設「放射光科学研究センター」へ改組・転換するものである。

本件に係る照会先
・谷口放射光科学研究センター長
TEL. 0824-24-6995

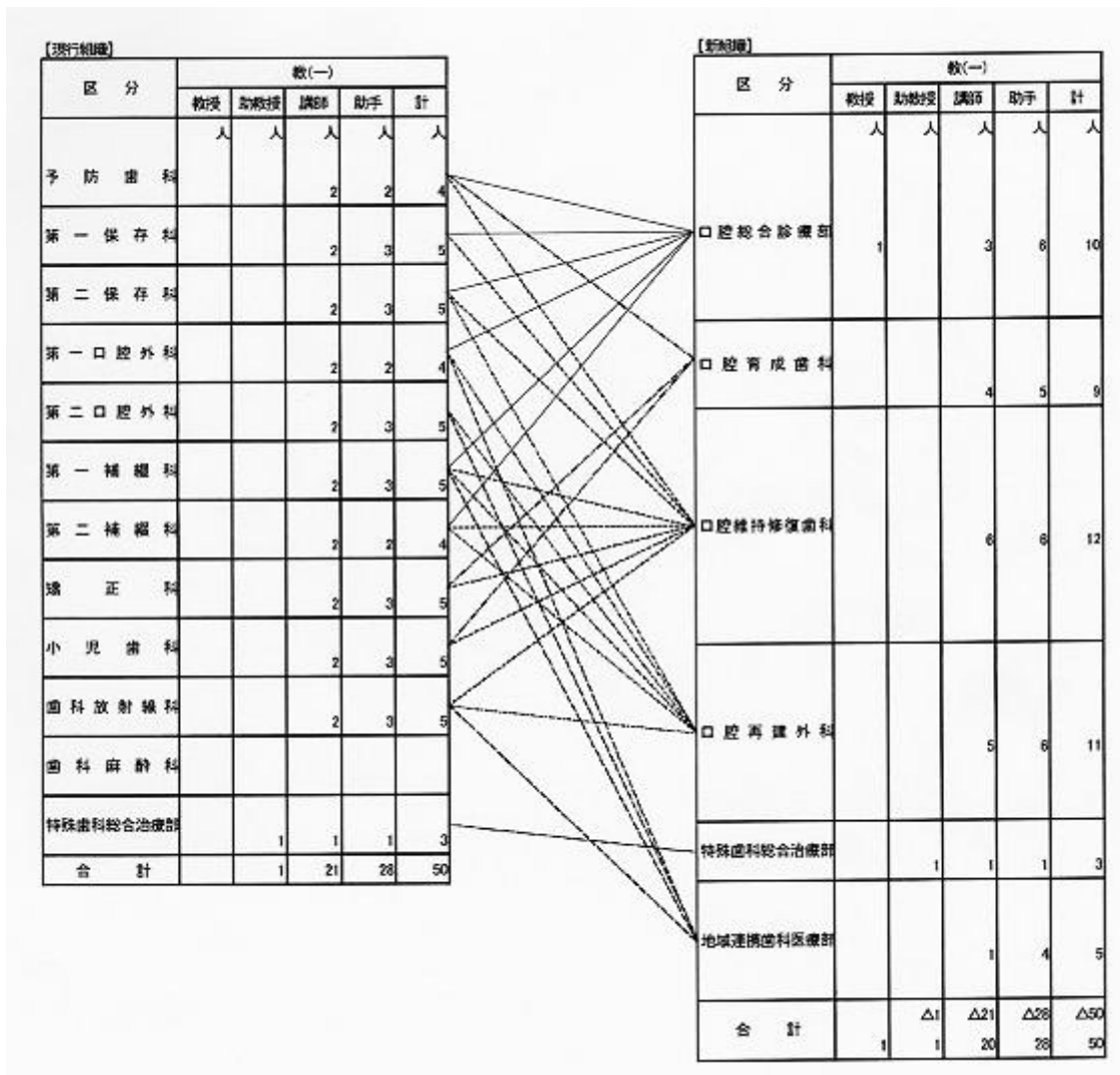
[次ページへ](#) [前ページへ](#)

○歯学部附属病院の再編成

(要求要旨)

歯科領域における疾病構造の変化に対応した診療体制の整備、臨床教育の充実化、更には、社会に開かれた地域の中核病院としての機能を高め、診療連携の推進等を図るため、次のとおり整備し、既存の11診療科を3診療科に再編、また、患者中心の診療を行うため新患者の受付となる口腔総合診療部及び地域と連携した歯科医療を行うための地域連携歯科医療部を設置する。

(移行図)



本件に係る照会先

・長島 歯学部事務部総務課長
TEL. 082-257-5602

[次ページへ](#) [前ページへ](#)

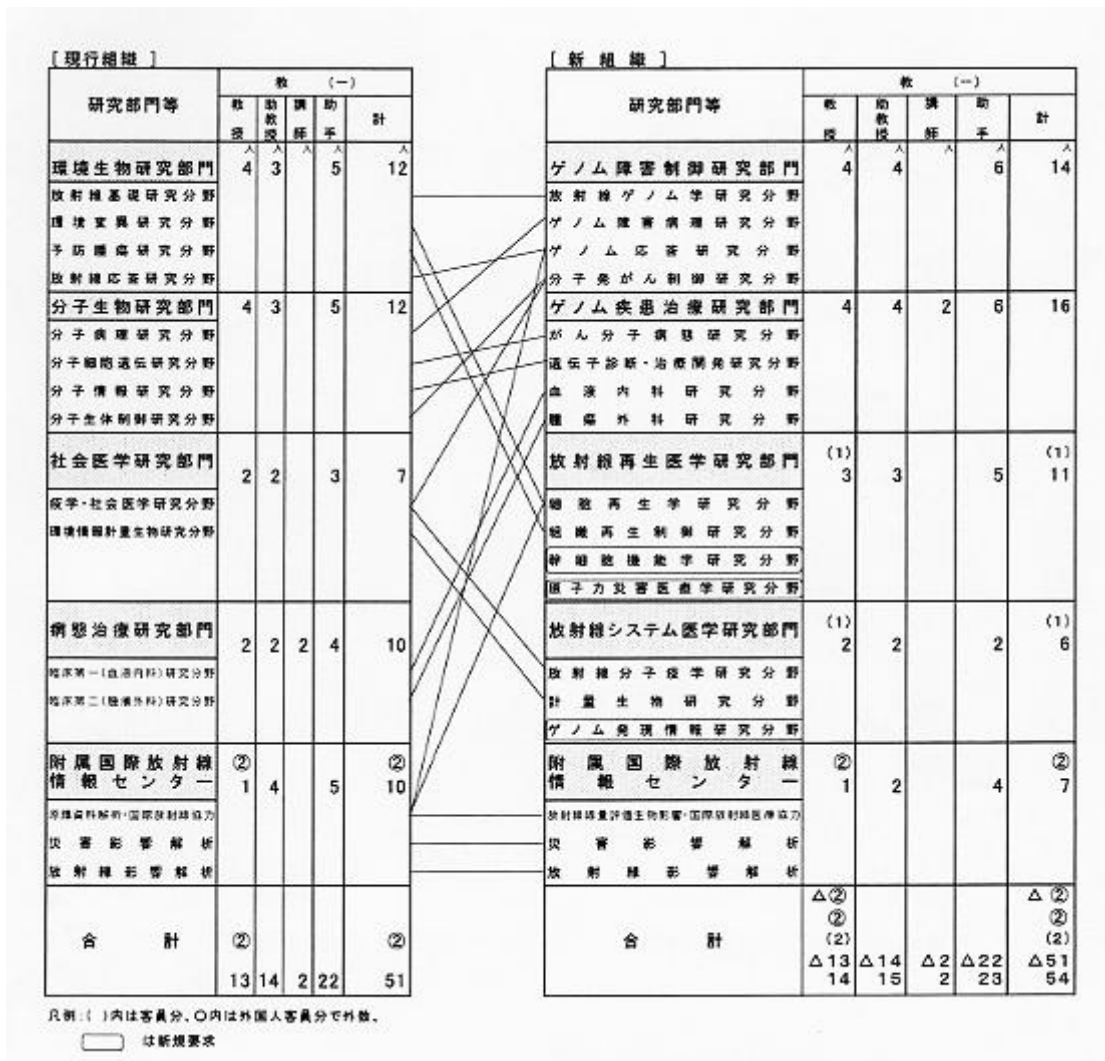
○原爆放射能医学研究所の改組

(要求要旨)

原爆被爆者の高齢化に伴い、がんの発症率が増加傾向を示すと共に、生活習慣病の発症が増加傾向にあるほか、最近の医療の高度化や原子力産業の発展により、一般人などが被曝し急性放射線障害に罹る機会が益々増加していることから、早急にこれらの発症機構の解明と有効な治療法の開発等が社会から要請されている。

このため、ゲノム科学、再生医学、バイオインフォマティクス等を導入した研究体制を構築するため、現在の「原爆放射能医学研究所」を、次のとおり改組し、「原爆放射線医科学研究所」に名称変更する。

(移行図)



本件に係る照会先

- ・神谷 原爆放射能医学研究所長
TEL. 082-257-5800(所長室)
TEL. 082-257-5842(研究室)

[前ページへ](#)